

平成24年度県内発掘調査の概要

県内の発掘調査件数は、平成11年度には60件を超えていましたが、その後徐々に減少し、近年はピーク時より半減し、平成24年度の発掘調査は、県8件、市町16件の計24件です。

以下、各時代の主要な調査を列挙します。縄文時代では、勝山市三谷遺跡で約5,000～3,000年前の中期～晩期の縄文土器や打製石斧、磨製石斧を確認しました。

弥生時代では、複数の調査で集落跡を確認しました。福井市鷲塚遺跡は、中期の区画墓や土壙墓からなる墓域です。鯖江市今北山・磯部・弁財天山古墳群では、前年より引き続き後期の高地性集落が調査され、環濠内に建物跡が確認されました。

古墳時代では、福井市石盛遺跡や鷲塚遺跡で集落跡を確認しました。そのほか、越前町番城谷山5号墳、若狭町脇袋丸山塚古墳では、墳形や埋葬施設の確認調査が実施されました。

奈良・平安時代は、あわら市清間遺跡、福井市石盛遺跡、美浜町興道寺廃寺の調査があります。石盛遺跡は、整然と並ぶ大型掘立柱建物群や畿内産暗文土師器椀の在地模倣品、円面硯、風字硯などの出土から、8～9世紀の官衙や荘家である可能性が考えられています。

中・近世では、福井市一乗谷朝倉氏遺跡、勝山市白山平泉寺旧境内をはじめ、城館跡などが調査されました。美浜町国吉城址では本丸の帯曲輪に天正期の石垣が、小浜市武田氏館跡では館の東門とみられる礎石建物が確認されました。このほか、坂井市関中遺跡では16世紀の集落が、越前町杉の花遺跡では、剣神社の古絵図に描かれる殿池とみられる池状遺構が確認されました。そして、丸岡城の天守台周辺や福井城御座所の確認調査が実施されています。

調査件数は少ないですが、県内各地で各時代の様々な遺跡が調査されています。それらの成果に触れて、埋蔵文化財を身近に感じ、より一層関心を深めていただければ幸いです。

